

社会科学習指導案(本時案) 4 学年

単元名『地震からくらしを守る』

1 本時の位置 (全 9 時間扱い中の第 2 時)

前時：東日本大震災の写真から、大地震が起きたらどんな被害が出るのか読み取り、避難訓練を行う意味について関心を持つ。

次時：防災マップや住んでいる地域の避難所を調べ、市や地域での地震対策への取り組みを知る。

2 本時の主眼

地震による被害の様子や、避難訓練を行う意味について関心を持ち、学校や住んでいる地域ではどんな対策を行っているのか知りたいと願う子どもたちが、地震によって引き起こされる火災の学校における対策を調べる場面で、校内を探索して見つけた火災対策をミニマップにチェックしたり、チェックした場所を黒板に示されているマップと照らし合わせながら、付箋を貼って発表したりすることを通して、学校全体で取り組んでいる活動があることや、身近なところで防災への備えがされていることがわかる。

3 指導上の留意点

- ・教室外に出る活動のため、他教室の授業の妨げにならないよう注意を促す。
- ・黒板にマップを張り出すだけでなく、各グループにミニマップを配布する。

4 本時の展開

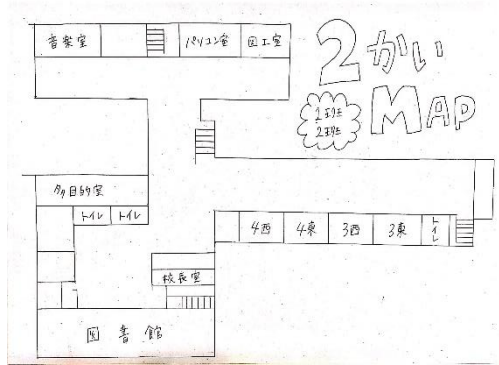
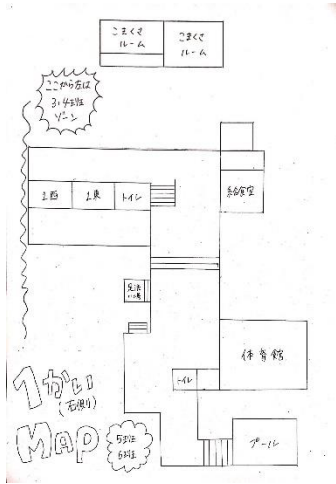
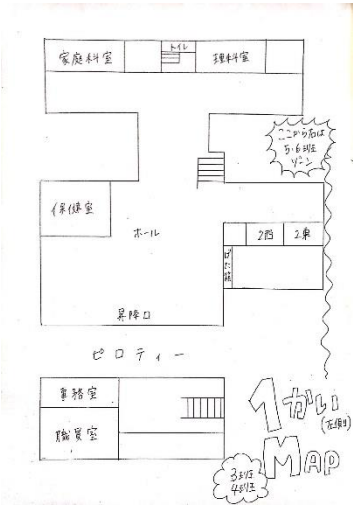
段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 学校内での火災対策の写真を見て、学校での取り組みについて考える。	・見たことある。 ・どこにあるの。 ・4西の教室の前に消火器あるじゃん。 ・階段上った上にもあるよ。 ・ほんとだ！火災報知器教室にあるんだ。 ・学校の中にたくさんあるよ。	5	○「これってどこにあるか見たことある？」 消火器、防火扉の写真画面に提示し、火災は地震によって引き起こされる災害の1つであることを振り返りながら、学校での火災対策に関心を持てるようにする。 ○「他に学校内で火災の対策がされているものってどんなものがあるだろう」
	2 何を調べるか、どうすれば調べられるか、見通しを話し合う。	・外に調べに行く。 ・先生に聞く。 ・ミニマップ持ちたい。 ・やった！外だ！ ・今日はタブレット使うんだ。	5	○「今日はみんなで防災マップを作りたいと思います。」グループに1枚校内のミニマップとタブレットを配布し、消火器、防火扉、火災報知器、その他の4つに分類しながら写真を撮り、マップにメモできるようにする。 ○教室外に出る活動のため、他のクラスは授業中であることを認識した上で、静かに行動すること、グループで活動を行うことを確認する。
展開	3 グループで校内探索を行い、見つけた対策をミニマップにメモする。	・これは？ ・そういえばあそこにあった気がする。 ・これは火災の対策になるのかな。 ・静かにしよう。 ・あっちも探しに行ってみようよ。	15	○グループごとに探索する範囲を指定する。 ・2階→1班・2班 ・1階左側→3班・4班 ・1階右側→5班・6班 ○けがをしたり、他クラスの授業の妨げになったりするような行動をとらないように配慮する。 ○帰ってきた班からタブレットを返却する。
	4 見つけた対策を発表しあう中で、学校での防災への取り組みがわかる。	・消火器あった。 ・火災報知器もあるよ。 ・防火扉もたくさんあった！ ・こんなのも見つけた。 ・学校は避難所になっているよ。 ・それは見つけられなかった。 ・火災の対策になるの？ ・意外なところにあるね。 ・ここにも対策があるといいんじゃないかな。	15	○以下の色の付箋を黒板のマップに貼る。 ・赤：消火器 ・青：防火扉 ・黄色：火災報知器 ・緑：その他 評価：学校全体で取り組んでいる活動があることや、身近なところで防災への備えがされていることがわかる。 評価方法：学習プリント、発表、つぶやき
まとめ				

5	本時の追究を振り返る。	・学校では火災の対策がいろいろされていることがわかった。 ・火災以外にも地震の防災あるかな？ ・学校以外でもみたことあるよね。	5	○まとめを板書する。 ○完成した防災マップを教室に掲示する。
---	-------------	---	---	---

□提示する写真



□配布するミニマップ



□板書計画

8/24 地震からくらしを守る

学習問題

学校でどんな火災対策がされているか調べよう

マップ (2階)

学習課題

学校での火災対策をミニマップにメモして、防災マップを作ろう！

マップ (1階)

わかったこと
気づいたこと